



条幅規定

成家 堀 和光

手本に忠実に書かれ、明るさのある作品であるが、や、墨量不足の感じがする。また転折に丸味をおび、強さ不足。成家として自己の古典を修得し、一家を成してほしい。雅印は一考を。

条幅随意

師範正 志岐 陽華

歯切れよく進む筆が刻むリズムが何とも快い。墨量・文字の大小、線の強弱が無理なく自然で、余白も明るくよく響き合っている。人生はつねに挑戦！「成家」を目指し自己の鍛練を。

条幅随意(臨書)

成家 兵頭 白慧

自己のリズム、自己の匂いを漂わせ一家を成しつつあるが、芸術は破壊と創造の繰返しです。古典、用具など自分で型に填めずに挑戦を。若いうちの苦勞は必ず後に役に立つことでしょう。

一般部毛筆最優秀作品

(4月末日締切分)

半折 1/2 横

師 範 榎園 美鴻

明るく落ち着いた作品で、余白、行の響き合いも美しく非凡で、爽やかさを感じる逸品です。現状に甘んじることなく、上を目指し、挑戦してほしい。期待しています。



半紙規定

六 段 古瀬 白梢

確かな章法で躊躇することなく堂々と筆を送る自信が作品から漂ってくる作品ですが、雅印が「画竜点睛」に欠く。雅印にもこだわりを。

半紙随意

師 範 藤永 琇雲

直線が効いて力強く、拘泥を感じさせない自由な運筆が作品に生命感を与えている。書く楽しさと自信が伝わってくる。更なる精進に期待。

半紙随意(臨書)

師範正 下田 華恵

運腕大きく、線に澀なく、若い頃の王羲之が書いたような好感のもてる臨書である。何か一つでも古典を極めると新しい自信となる。



学生部条幅 (1/4)

小五 五段 小野 優莉

力のこもった線でぐいぐいと書いた元気のよい作品です。書き始めの「ニジミ」に気をつけることさらに良くなります。がんばって下さい。

白石 莉子

小二 準3級

なまえまできをぬかずに、いっしようにけんめいていねいに書いています。きほんのふでづかいがしっかりとしてできています。

日高 玲音

小三 準4級

字の形がよくとのつています。名前もしっかりと書いていて、いっしようにけんめいに練習したようすが見えるようです。

菅原 捺美

小四 3級

お手本をよく観察して形よく書けた作品です。「右ハライ」もしっかり書いています。今後、さらにきたいしてありますよ。

松井 美月

小五 準五段

本文・名前ともに気をぬかず、一生けん命に元気よく書けた作品です。この調子でさらに上の段を目指してがんばってね。

戸高 愛美

小六 二段

基本の筆づかいが見事です。伸びやかな線でバランスよく書いています。上位有段者に負けない力をもっています。期待大。

濱田梨花子

中一 準三段

伸びのある線で明るくすっきりと作品をまとめている点に、腕の確かさを感じます。名前もすばらしい。今後さらに期待！

廣瀬 碧

中二三準特待生

大人顔負けの筆づかいで、本文・名前ともに完成度の高い作品です。「特待生」までもう一歩です。この調子で挑戦して下さい！

まついさら

小一 6級

どうどうとしたさくひんです。なまえもげんきよくかけましたね。さらさんのげんきがあふれたりつばなさくひんです。

野尻 風牙

小四 準二段

紙いっぱいに風牙さんの元気があふれたのびやかな作品です。見ていてとても気持ちがよくありません。さらにがんばってね。

乗定 風香

小五 準三段

本文・名前ともに力強くどうどうと書いています。日ごろの練習のたまものだと思います。今の気持ちを忘れずにがんばってね。

硬筆部最優秀作品

(4月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

海水の大部分は水であるし海が大 きな水のかたまりであることは確 かである。しかし人間の飲み水とい う面からみると砂漠と同じかそれ 以上に水が乏しい環境なのである。 平田 薫愛	信号が青にかわるとた くさんの車が走りだしま した。細いうら通りでしん しはおりていきました。 江口 舞	見下ろすとぶなの木の ねもとに、野ねずみの家 族がみんなできつつき を見上げています。 一色 義子	「わたしたちも ゆれて おどりた い。おどれば、雪 に 日があたる。」 かわのなぎさ
「なんでも鑑定団の古美術鑑定家の 中島誠之助さんは、偽物はあっても いいが持論だから本物を輝く。プロ の骨董商は偽物をつかんだらぐっと 腹に納め、その不勉強さを悔む。 村内 絢子	ぼくたちは丸時間ぐらい 湖の中に立っていた。ちんぽつ 船のドアに乗っているつもり でいたけれど、つかれたので、 湖の水をぐくと飲んだ。 北村 友佳	見下ろすとぶなの木の ねもとに、野ねずみの家 族がみんなできつつき を見上げています。 青木 瑠菜	「わたしたちも ゆれて おどりた い。おどれば、雪 に 日があたる。」 おりおさくらこ
ご入学おめでとうございます。 いよいよ新一年生です。 オーストラリアで大きく成長したとてよう。 聖哉君はたくさん元気が、これから 成長を楽しくみにいそいそと。 お友達と仲よく、学校の生活を 送ってください。 近いうちにお祝いにまいります。 青霞	やあだよ、と言いつ返す代わりに、 ぼくはそっぽを向いた。お父さん にしかられたのは、ゆづべ。丸一 日たつても「ごめんなさい」を言 わなかったのは新記録だった。 川村 菜奈美	信号が青にかわるとた くさんの車が走りだしま した。細いうら通りでしん しはおりていきました。 吉本 一葉	「わたしたちも ゆれて おどりた い。おどれば、雪 に 日があたる。」 おりおさくらこ

松下 心優 小一 5級 マスの中いっぱ いにげんきよく かけています。み ゆさんのおけい このたのしさが さくひんにあふ れています。なま えもりっぱです。	河野 風紗 小二 準4級 力のこもったせ いで、いつしよ うけんめいに、 とても形よく書 けています。ひ ごろのれんしゅ うのせいかで ています。	折尾さくら子 小二 準5級 「雪」というかん 字がむずかし かったと思います が、のびのびと した明るい作品 です。このちよう しでこれからも がんばってね。
一色 義子 小三 1級 新三年生になる と、マスがなくな るのでとても むずかしかった と思いますが、 全体のバランスも よく、のびやかに 書けています。	青木 瑠菜 小三 4級 お手本をしつ かりとかんさつし ながら、とても いねいに形よく 書けています。 名前も漢字でし っかりと書けて いてりっぱです。	吉本 一葉 小四 初段 あたたか味のあ る線で、漢字と 平がなの balan スが良く明るく 書けています。 この線を大切に これからが ばって下さい。
江口 舞 小四 1級 ペンを上手に使 って、明るく、伸 びやかに書けて います。行の中 心に気をつける とさらによくな ります。期待し ています。	北村 友佳 小五 準三段 力のこもった強 い線で、本文か ら名前まで集中 力をきらさず、 しつかりと書け ています。次は平 仮名を少し小さ く書きましよう。	川村 菜奈美 小六 四段 いつもながら、 完成度の高さに は頭が下がります。 お上手の観 察力が見事です ね。さらに上の 段を目指してが んばってください。
平田 薫愛 中学 準特待生 漢字と平仮名の バランスの良い 明るい作品です。 頂上までもう一 歩です。この調 子でがんばって 下さい。期待し ています。	村内 絢子 一般 師範正 気のこもった中 にも温か味ある 線で全体を纏め てある点に腕の 確かさを感じま す。今後は、流 れを意識して書 いてみて下さい。	古村 青霞 一般 準師範 文字に大小の変 化があり、流れ も自然で明るい 作品です。ここ に抑揚の変化が 加わると、さらに 伸びやかさが増 すと思います。